

京都トレーニングセンター構想(案)

～丹波自然運動公園スポーツ施設改修整備計画～

京 都 府

【1 整備の基本的な考え方】

(1) 施設の特長を生かすという視点

- ・ 宿泊機能を有する(和・洋37室 300名宿泊可能)
 - 老朽化が進展
- ・ 自然に恵まれ、トレーニングに専念できる環境を有する
 - フィジカルトレーニング施設が未整備
- ・ 複数のスポーツ施設を有する
(陸上競技場、球技場、野球場、テニスコート、体育館)
 - 大規模なスポーツ施設の新設は困難

(2) スポーツ施設の整備という視点

(3) 財源の確保(国の補助制度の活用)という視点

【2 整備の方向】

～ジュニアアスリート(中高生)の育成拠点を目指して～

- ジュニアアスリートの体力、競技力の向上を図るとともに、選手間、指導者間の交流を促進し、ジュニアアスリートの絆づくりに貢献する拠点
- 関係機関や大学等との連携により、ジュニアアスリートの安心・安全なトレーニング環境づくりや指導力向上に貢献する拠点
- 災害時には防災拠点としても活用

【3 整備のポイント】

- ① ワンストップのトレーニング環境の整備
- ② 機能的なトレーニング環境の整備
- ③ 専門的なトレーニング環境の整備
- ④ 防災拠点としての活用

① ワンストップのトレーニング環境の整備

- フィジカルトレーニング機能、指導機能、相談機能、交流機能等と宿泊を同一施設に一体化し、ワンストップの環境を整備

【整備イメージその1(トレーニング機能等の一体化)】

フィジカルトレーニング機能

ウェイトトレーニング室、ストレッチ室



ウェイトトレーニング室



多目的スペースとしても活用可

指導機能

体力測定、動作分析(動作分析による指導)、メンタルサポート



体力測定

相談機能

スポーツドクター相談、ボディケア、研修



研修室

スポーツ栄養
相談機能

栄養相談、食堂



(写真はイメージです)

交流機能

ミーティング室、交流スペース



(写真はイメージです)

ミーティングルーム(宿泊室兼用)



(写真はイメージです)

交流スペース

【整備イメージその2(トレーニング機能と宿泊の一体化)】

現況



宿泊機能だけの施設



整備イメージ



(写真はイメージです)

宿泊機能と各種トレーニング機能が一体となった施設



(写真はイメージです)
提供: アクション福岡

宿泊室(洋室)



(写真はイメージです)

宿泊室(和室)



(写真はイメージです)

シャワールーム

【整備イメージその3(バリアフリー化)】

現況



宿泊室入口の段差



整備イメージ

宿泊室入口のフラット化



和式トイレ



トイレの洋式化



屋外の廊下

(廊下の段差)

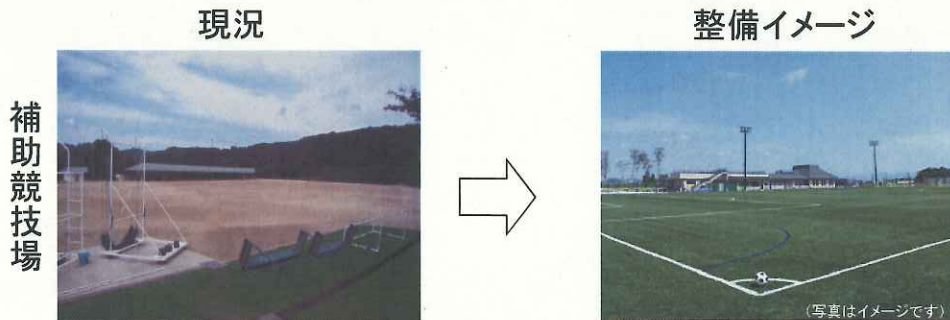
(屋外廊下から行くトイレ)



屋内、フラットな廊下

② 機能的なトレーニング環境の整備

- 自然を生かし、誰もが安全・安心にトレーニングできる環境の整備
→ 土のグラウンドの人工芝生化(ケガの減少 等)

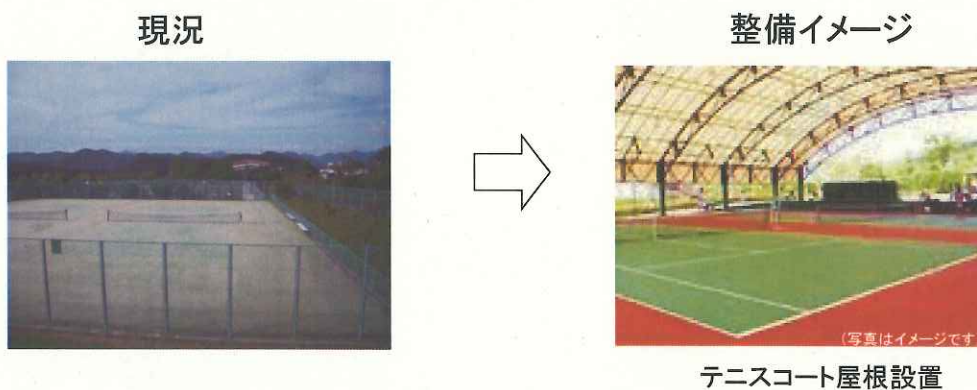


- 木片チップによるクロスカントリーコースの設置
- クラブハウスの整備(更衣場所の確保、雨天時の避難場所 等)



- 夜間や雨天時に対応できる多様な練習環境の整備

- 夜間でも練習可能な環境の整備
- 雨天でも練習可能な環境の整備



- ASEやPA系プログラムを取り入れた練習環境の整備

・ASE(行動社会化経験)

自然や人工の障害物を利用してつくられた課題を、グループで協力しながら解決し、子供たちの社会化を促進していくことを目的としたプログラム。

・PA(プロジェクトアドベンチャー)系プログラム

団体での冒険プログラムを通じて、個人の成長と人間関係の構築をめざすプログラム。

③ 専門的なトレーニング環境の整備

- 京都府スポーツセンターとの連携
→ 年間を通じた指導体制の構築
- フィジカルだけでなく、メンタル、コンディショニング(ボディケア)まできめ細かいトレーニング指導体制の充実
→ 大学等と連携し、専門スタッフによる指導

トレーニング機能		交流・指導機能			
科学トレーニング		メンタルサポート	コンディショニング		
フィジカル・体力測定	動作分析		栄養アドバイス	スポーツクター	ボディケア
大学等		↓	京都府スポーツセンター		大学等
↓			栄養士派遣	スポーツクター派遣	↓
・トレーニング指導 [フリーウェイト] [フィットネスマシン] 等	・撮影、分析 [動作分析装置]	・相談、講習会	・指導者、選手への栄養指導	・医事相談、講習会	

④ 防災拠点としての活用

- 丹波自然運動公園は、府北中部の広域防災活動拠点に位置づけられており、大規模災害時の拠点として活用

→ 応援部隊の宿泊、備蓄倉庫、支援物資保管所、防災活動スペース等



備蓄倉庫(現宿泊施設)



応援部隊の宿泊(新トレーニング・宿泊施設)



テニスコート屋根設置



支援物資等の保管場所



24時間の防災活動スペース

【4 さらなる整備に向けて】

- 陸上競技場の機能の向上
3種公認(現状) → 2種公認化へ
(府北中部で初、府内の大規模大会の開催)
- 府民スポーツの振興
グラウンドゴルフ場 等